

## PrEP

別名：Pre-Exposure Prophylaxis：暴露前予防内服

PrEP は、HIV の予防に使われる薬です。

### 重要ポイント

- PrEP は、HIV に感染するリスクが高い人に適した薬です
- PrEP は、医師の助言に従い毎日継続的に服用するか、必要に応じて（オンデマンドで）服用すると、HIV の予防に非常に効果的です
- PrEP は、GP（一般医）なら誰でも処方できます
- PrEP の服用を始めたなら、定期的に医師の診察を受けなければなりません

### PrEP とは？ (What is this?)

PrEP は HIV に感染するリスクがある人が服用する錠剤で、HIV への感染リスクを最大で 99% 軽減します。

PrEP は、たとえば以下のような、HIV に感染するリスクが高い人に適した薬です：

- 男性で、コンドームを使わないで他の男性とセックスをする人
- HIV に感染しているものの治療を受けていない、または HIV に感染するリスクが高い性的パートナーがいる人

### PrEP への Medicare の適用について (Is PrEP covered under Medicare?)

PrEP には Medicare（オーストラリアの公的医療保険）が適用されます。現在、テノホビルジソプロキシルを含有する複数の多剤混合薬が、オーストラリア国内で有効な Medicare カードを持つ人への PrEP としての使用目的で、Medicare の医薬品給付金制度（Pharmaceutical Benefits Scheme: PBS）の対象医薬品リストに含まれています。

これはつまり、Medicare カードと有効な処方せんを持っていれば、オーストラリア国内の小売薬局で PrEP 薬を保険適用後の割安価格で購入できるということです。

Medicare カードを持っていない人は、PrEP 推進団体である PAN のホームページ等で、PrEP のオンライン購入方法を含む PrEP についての情報を確認してください。

### PrEP の効果について (Is PrEP effective?)

PrEP は、医師の助言に従い毎日継続的に服用するか、必要に応じて（オンデマンドで）服用すると、HIV の予防に非常に効果的です。

### PrEP の安全性と副作用について (Is PrEP safe? What are the side effects?)

PrEP の服用により、吐き気や食欲減退、頭痛などの副作用が出る人もいます。こうした副作用は通常は軽度なものであり、最初の 1 ヶ月以内には治まってなくなります。副作用が治まらずに心配なようでしたら、医師に相談してください。

PrEP を服用する人の中には、少数ながら腎機能障害を発症することがある人もいますので、PrEP 服用中は 3 ヶ月毎に腎臓の検査を受けることが重要です。

### PrEP 療法はどのように受けるのか (How do I get PrEP?)

PrEP は、GP（一般医）なら誰でも処方できます。お住まいの地域で PrEP を処方できる医師は、PAN で検索することができます。

PrEP を服用するメリットがあると見込まれる人であれば、医師が腎機能・肝機能を調べるための血液検査と、HIV 感染の有無を確認する検査を手配します。

PrEP の使用条件を満たしていることが確認されて、服用を始めたいと希望する人には、医師から処方せんが出されます。Medicare カードを持っていれば、オーストラリア国内の小売薬局で PrEP 薬を保険適用後の割安価格で購入することができます。しかし、PrEP を発注しなければならない薬局もあるかもしれません。この場合、受け取りまで数日かかる場合があります。

**i** PrEP の入手先についての詳細は、以下のウェブサイトを確認してください：

- PAN ([pan.org.au](http://pan.org.au))
- Alfred Health [アルフレッド・ヘルス] : ビクトリア州 PrEP サービス ([alfredhealth.org.au/services/victorian-prep-service](http://alfredhealth.org.au/services/victorian-prep-service))

### PrEP 服用開始後について (What happens once I start PrEP?)

PrEP の服用を始めたら、定期的に医師の診察を受けなければなりません。

HIV の血液検査やその他の検査を受けて、身体が PrEP 薬に良い反応を示しているかどうかを確認する必要があります。また、どのようにすれば HIV 感染のリスクを軽減できるのかという情報も提供されます。

PrEP 薬は毎日、処方された通りに服用しなければなりません、規則正しい服用を忘れないようにするための方法については、医師からもアドバイスがあるでしょう。

PrEP の服用を忘れがちだったり、服用をやめたいというときは、医師に相談してください。

**i** PrEP の様々な服用方法についての情報は、PAN のホームページ ([pan.org.au](http://pan.org.au)) で確認してください。

### PrEP と HIV 以外の性感染症予防について (Does PrEP protect me from other STIs?)

PrEP を服用していても、梅毒や淋病などの HIV 以外の STI (性感染症) からは身を守れません。

PrEP の服用を始めたら、STI の症状が現れていなくても、定期的に STI 検査を受けることが重要です。

### PrEP の服用期間 (How long do I need to be on PrEP?)

PrEP をどのくらいの期間服用すべきなのは、医師と相談してください。

PrEP を服用していた人が服用をやめるのには、いくつかの理由が考えられます：

- 生活の変化に伴い HIV に感染するリスクが軽減した人は、PrEP の服用をやめようとするかもしれません。
- 毎日薬を服用するのが嫌だったり、薬を飲み忘れがちだという人には、HIV 感染から自分の身を守る別の手段のほうが適しているかもしれません。
- PrEP 薬による副作用が生活に影響を及ぼしているという人は、服用をやめようとするかもしれません。
- 血液検査の結果、身体の PrEP への反応が安全なものではないと判明した人については、医師が PrEP の処方止めなければならないかもしれません。

### PrEP の代替となるもの (Are there any alternatives to PrEP?)

個人のリスク要因によっては、PEP やその他の方法によるセーフセックスの実践など、PrEP 以外の HIV 予防策のほうが適していることもあります。

### 支援を得られる場所 (Where can I get help?)

- 最寄りの性健康・性感染症サービス機関に行く
- お住いの地域の医師に診てもらう
- お住いの地域のコミュニティ医療センターに行く

StaySTIFree [STIに感染しないために] のウェブサイト ([staystifree.org.au](http://staystifree.org.au)) で、性健康・性感染症サービス機関を探してみましょう。

### 免責事項 (DISCLAIMER)

このファクトシートは一般的な性健康についての情報を提供するものであり、あなたの医師への相談やその医師による診療の必要性を代替する目的で作成されたものではありません。

自身の健康に不安や懸念がある場合は、あなたの医師に相談してください。

緊急の治療やケアを要する場合は、最寄りの救急科に行くか、000番（救急）に電話通報してください。